

ご挨拶

全国小学校理科研究協議会 会長 林田 篤志
(江戸川区立西一之江小学校長)



全国小学校理科研究協議会は、今年度の第1回理事会・研修会を去る7月1日（土）に、榊内田洋行・新川本社にて開催いたしました。当日は、文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 鳴川哲也先生を講師にお招きし、「新学習指導要領を踏まえた理科教育の在り方」という演題で、今年3月に告示された次期学習指導要領の説明やこれからの理科教育の在り方についてご示唆いただきました。また、東京大学特任教授 日置光久先生、公益社団法人日本理科教育振興協会会長 大久保昇様、全小理顧問の岸川正登様のご来賓の他に、多くの全小理顧問の先生方、全国各都道府県の理事の皆様など、多くの皆様にご参会を賜りました。心から感謝申し上げます。

研修会に先立って行われた第1回理事会で、皆様方のご承認をいただき、関根正弘会長の後任として、本会会長の重職を仰せつかりました林田篤志です。歴代の会長をはじめ、全国の理事の皆様、各都道府県の理科教育研究会の皆様たちが、これまで築いてきた全小理の活動を引き継ぎ、更なる充実・発展のため、精一杯努めます。

さて、今年度の大会は、8年振りに東京都で開催する大会です。昨年度第2回理事会でご承認いただきました大会主題「**グローバル社会を生き抜く 心豊かな人間を育てる理科教育**」のもとの初めての大会となります。そして、今年3月末に告示された次期学習指導要領、6月に公開されました学習指導要領解説に示されたことを基にしながらも、東京ならではの特色を打ち出せるよう研究を進めてきています。「理科の見方・考え方を働かせながら、資質・能力を育成する理科学習」を実際の授業の場面で示すことができるよう、大いに期待をしているところです。

今年は、大会50回記念の全小理として節目の年でもあります。50回大会を記念して、昨年度理事の皆様にご投票していただき決定した全小理のシンボルの図案をもとに作成した全小理会旗を先日の第1回理事会でお披露目いたしました。また、50年に及ぶ大会の歴史を振り返る記念誌「全小理 50年のあゆみ」も大会当日に皆様のお手元に届けられるよう現在作成を急いでいるところです。大会初日の10月26日には、ノーベル生理学・医学賞を受賞された、北里大学特別栄誉教授の大村智先生の記念講演を予定しております。当日は、会場を埋め尽くすような大勢の皆様のご来場を心よりお願い申し上げます。

全小理の50年の軌跡に思いを馳せつつ、これまで、全小理を支えてきてくださり、そして、ここまで発展させてくださった諸先輩のご尽力に心から感謝の気持ちを抱きながら、新しい全小理会旗の下、これからの理科教育を私たち全小理が力強く全国に発信していく、そんな1年にしていきたいと思っております。私たち全小理の研究活動が、日本全国の理科教育の充実・発展につながることを信じて、皆様とともに力を尽くしてまいります。今年度もどうぞご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくようお願い申し上げます。

(平成29年7月)